

## 普及活動情勢報告（平成30年8月分）

高吾農業改良普及所

### 日高村とイチネン農園が新・農業人フェア合同初参加



トマトに関する就農相談

7月28日に東京で開催された「新・農業人フェア」に日高村とイチネン農園が参加しました。普及所は、新・農業人フェア用の資料作成を行い、6人の就農相談者の対応を日高村とイチネン農園と共に行いました。

相談者からは「トマト栽培を始めるのに何が必要か」「イチネン農園の就業条件」等の相談がありました。普及所は農業の基礎研修やトマト農家での実践研修の必要性を説明し、イチネン農園は施設や設備の状況、就業条件について説明しました。

普及所は、今後も担い手確保のために生産者や関係機関と相談活動を促進していきます。

### 赤ピーマン目慣らし会を行いました



色目を確認する生産者

7月27日、8月10日に赤ピーマンの目慣らし会が行われ、のべ11戸の出席がありました。

普及所からは、赤ピーマンで発生しやすい生理障害や、台風対策について指導し、こまめなかん水呼びかけました。また、管内で試験栽培中の‘ピクシー’の生育状況、腐敗と日焼けの程度についても情報提供を行い、生産者から「‘京ゆたか’と比べて色はどうか」といった質問が出ました。

今後は、赤ピーマンでの樹勢維持について助言指導していくとともに、‘ピクシー’についても随時生産者に情報共有していきます。

### イチゴ園巡りを行いました



苗の状況を確認する生産者

J A コスモス佐川支所苺部会で、育苗期の園巡りと勉強会が行われました。17戸の農家が参加し、育苗状況と防除や肥培管理について情報交換が行われました。

普及所からはGAPとIPM技術などの栽培に関する事について説明しました。農家からは国のガイドラインに準拠したGAPの項目について、実際の栽培に合わせた形で知りたいという意見が出ました。

普及所は今後管内のイチゴ栽培向けGAP点検項目の検討などを行い産地を支援していきます。

### 高吾えいのう塾を開催しました

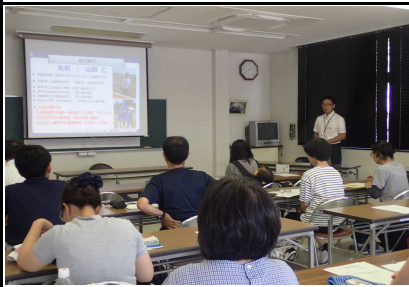


講義を熱心に聞く参加者

8月1日、高吾農業改良普及所において、新規就農者を対象に農業の基礎講座第1回を開催し、4名の参加がありました。第1回目は農業全般について講義を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。

今年度は、農業全般・肥料・農薬・農業経営の4回シリーズで高吾えいのう塾を順次開催していきます。普及所は、今後も新規就農者への支援を行っていきます。

## はちきん農業大学 第2回高吾地区講座を開催しました



受講する女性農業者ら

8月6日、高吾農業改良普及所で2回目のはちきん農業大学を開催し、5名が出席しました。

講師による「農業者の熱中症対策について」の講義後、質疑応答では具体的な水分補給の方法などを学びました。

参加者は、熱心にメモを取っており、アンケート結果では、全員が内容を良く理解されていました。また、「朝食をとる」ことや「こまめに水分補給する」など熱中症予防対策を実践したいとの回答がありました。

普及所は、今後も女性農業者の栽培技術や経営管理能力の向上に向けて計画的に講座を開催します。

## シュガートマトの定植が最盛期！



トマトが定植されたほ場

J A コスモスの高糖度トマト「シュガートマト」の定植が、8月中旬から9月上旬の約3週間にわたって行われています。シュガートマトは日高村・佐川町の20戸の栽培農家が約7.1 ha で栽培を行っています。今作は新規就農者の参入もあり、約30 a が増加する予定です。

普及所は定植前後に現地巡回を行い、生育初期の栽培状況の確認と苗の活着促進のための指導を行いました。今後も、収量アップに向け定期的に現地巡回と栽培管理指導を行います。